

島根大学戦略的研究推進センターヒッグス・初期宇宙プロジェクトセンター講演会

神岡の地下から 探る宇宙と素粒子

—ニュートリノと重力波—

岐阜県神岡の地下では、1983年以来ニュートリノ研究が行われてきました。
また現在は重力波の観測を目指すKAGRAの建設も進んでいます。この講演では、
スーパーカミオカンデでのニュートリノの小さい質量の発見やその後の研究、そしてその意義についてお話します。
また今後期待されるKAGRAによる重力波の観測と、重力波を通して調べる宇宙についてお話します。

開催日 the date

2018.2.17 (土)

時間 14:30~16:20

会場 島根県立産業交流会館
(くにびきメッセ)国際会議場

(島根県松江市学園南1丁目2番1号 TEL 0852-24-1111)

参加費 無料

定員 510名 ※定員になり次第申込みを
締め切らせていただきます。



写真提供: 東京大学宇宙線研究所

講演者

梶田隆章 教授

(2015年ノーベル物理学賞 受賞者)

東京大学宇宙線研究所所長・教授。埼玉県東松山市生まれ、東京大学大学院理学系研究科博士課程修了。東京大学大学院で小柴昌俊氏(2002年ノーベル物理学賞受賞)に師事し、ニュートリノの研究にあたる。その後、東京大学宇宙線研究所助教授などを歴任し、1998年大気ニュートリノを観測することで、ニュートリノに質量があることを提唱。2015年ノーベル物理学賞を受賞。

講演スケジュール schedule

- 14:30 島根大学長挨拶
- 14:35 ヒッグス・初期宇宙プロジェクトセンター長挨拶
- 14:40 梶田隆章氏による講演
- 15:50 質疑応答
- 16:15 閉会の挨拶 (島根大学企画・学術研究担当副学長)

お申込み先

■後援 島根県教育委員会



■お申込み期限 2018年2月8日(木)

■お問い合わせ先 波場研究室 haba.lab.koen@gmail.com

お申込み専用URL: <https://www.leaf.shimane-u.ac.jp/enquete/no/higgs>

